

☆第3日曜日はファミリー読書☆今月は7月19日です

いよいよ7月5日は運動会です。毎日暑い中、皆さんが一生懸命練習している姿は中学生らしいカッコ良さがあります。3学年のエイサー、2学年のダンス、1学年の空手、各種リレー競技など素晴らしい演技を楽しみにしています。

先月は【平和パネル展】を開催しました。平和について考えるよい機会になったことでしょうか。パネル展は10日まで開催していますので、まだ見ていない生徒は是非この機会に見に来てください。

また今月のオススメ本は「スポーツ特集」です。スポーツ練習法やスポーツを題材にした小説など紹介しています。オススメの本コーナーにて紹介しています。

6月の貸出状況

6月の貸出冊数 (太字は学年トップ)					
	1組	2組	3組	4組	5組
1年	128	259	179	57	277
2年	70	202	90	195	
3年	453	599	319	376	328

合計：3532冊 平均：7.3冊 不読者：135人

先月は地区夏季総体や中間テスト、運動会練習と多くの行事があり、読書ができる時間が中々確保できませんでした。しかし多くのクラスで貸出合計数が100冊を超えています。皆さんよく頑張っています。

その一方で不読者が2・3年生に多いです。休み時間・帰宅前にも図書館へ足を運び、本を借りてみませんか？

☆1階階段横の掲示板に、先月の多読者ベスト20位を掲載しています。

☆うらそえYA文芸賞募集☆

浦添市立図書館では毎年YA世代(ヤングアダルト・中学生~大学生)が制作した短編小説&詩を募集しています。

入賞者には賞状と副賞が授与され、また入賞作品は製本され浦添市立図書館や学校図書館に所蔵されます。

詳しい内容は、図書館前掲示板に貼ってあるポスターもしくは浦添市立図書館ホームページをご覧ください。

応募者には参加賞もあります。一昨年は平成24年度卒業生も入賞しています。皆さんも夏休みなどを利用して作品を制作し、応募してみてください。

【問い合わせ先】

〒901-2114 浦添市安波茶2-2-1

浦添市立図書館「2015うらそえYA文芸賞」係

TEL:098-876-4946

ホームページ <http://library.city.urasoe.lg.jp/>

お知らせ

7月の休館日

○放課後休館

4日(土) 運動会前日準備のため(2校時終了後より)
8日(水) 9日(木) 会議のため
10日(金) 夏休み前大清掃のため
17日(金) 館内整備のため

○終日休館

5日(日) 運動会
6日(月) 7日(火) 運動会振替休
15日(水) 16日(木) 蔵書整理のため

*7月の貸出・返却について

1学期前半もいよいよ終わりです。

7/8~7/14の1週間、毎日3冊貸出

読みたい本をたくさん借りられるチャンス!!

1学期前半の本の貸出は、

7月14日(火)までです。

15日~16日→返却期間

返却期間中は夏休み開館準備のために蔵書整理と館内整備を行いますので、終日休館します。閲覧室も模様替えを予定していますので、期間中は利用できません。

夏休み前の全員返却に協力してくれたクラスには、**8月31日~9月4日の1週間、図書館の本を3冊まで借りられる権利**をプレゼントします。

夏休み前貸出日⇒17日(5校時まで)


この日は3冊貸出します。夏休みにチャレンジしたい本、宿題で使う本など借りてください。




課題図書・指定図書

今年度の課題図書（読書感想文）・指定図書（読書感想画）が入りました！
 例年貸出希望者が多いので、予約をオススメします。予約は図書館カウンターにて受付しています。
 23日より貸出開始です。なお最初の予約者のみ17日に先行貸出します。

★課題図書(読書感想文)★

<p>『夏の朝』 本田 昌子/著 福音館書店 取り壊されるのを待つばかりとなった祖父が暮した家。その庭の蓮が花開くとき、時間を超え、少女はいつかの夏へと旅をする。なぜ祖父は庭に蓮を植えたのか、その秘密が少しずつ明かされていく。</p>	<p>『ブロード街の12日間』 デボラ・ホプキンソン/著 千葉 茂樹/訳 あすなろ書房 19世紀のイギリス・ロンドンを震撼させた「青い恐怖」コレラ。少年イールは「青い恐怖」から街を守るため、ジョン・スノウ博士の助手として奔走する。史実を基に、コレラと人々の戦いを描いた歴史フィクション。</p>
<p>『うなぎ 一億年の謎を追う』 塚本 勝巳/著 学研マーケティング 日本の代表的な食材である「うなぎ」の謎が、次々と解明されていく。そして、ついに世界初の天然のウナギの卵が発見された！</p>	

★指定図書(読書感想画)★

<p>『ユキとヨンホ - 白磁にみせられて』 中川 なをみ/作 船橋 全二/絵 新日本出版社 佐賀・有田の地で、朝鮮から連れてこられた陶工たちと、ユキは出会う。白い土が手に入れば、日本でも美しい磁器が作れるかもしれないと知り、ユキは磁器づくりの支援に乗り出すが…。日本の焼き物のルーツとして知られる有田焼誕生を描いた歴史フィクション。</p>	<p>『なりたい二人』 令丈 ヒロ子/作 PHP研究所 幼なじみで中学でも同じクラスながら互いに避けていた男女が、「なりたい職業について」の研究課題を2人で取り組むことに。悩みながらも、なりたい自分を発表できるまでを描いた切なくも爽やかな男女の成長物語。</p>
<p>『おしゃれ教室』 アン・ファイン/作 灰島 かり/訳 評論社 おしゃれ嫌いなボニー。ママの都合で「一日おしゃれ教室」に通うことになった彼女は意外な行動をとる！本当のおしゃれとは？外見にどんな意味があるのか？イギリスのベテラン作家による人気作品の翻訳書。</p>	

読書感想文におすすめの本

皆さんは読書感想文を書くときに、本選びで困っていませんか？「課題図書の本が借りられていて読めない」あるいは「課題図書は興味がない」という人も多いはず。読書感想文は「読んで面白い」だけでなく「作者が読者に伝えたいこと」がはっきりしている本を選んだ方がいいです。それを踏まえて、読書感想文におすすめの本を選んでみました。

<p>『リボン』 小川 糸/著 ポプラ社 ひばりは祖母と一緒にオカメインコ・リボンを育てていた。ある日、リボンはひばり達の下から逃げてしまう。しかしリボンは多くの人を結びつけ、そして長い時を経て再びひばりの下へ……。懸命に生きる人々と1羽の鳥の物語。</p>	<p>『チョコレート・アンダーグラウンド』 アレックス・シアラー/著 求龍堂 現代のある国で、なんと〈チョコレート禁止法〉が発令されてしまった。国中から甘いものが消えていく…それを知った少年はチョコを密造し〈地下チョコバー〉で売り始めた。でたらめな法律に立ち向かう少年達の活躍を描く。</p>
<p>『ルワンダの祈り 内戦を生きのびた家族の物語』 後藤 健二/著 汐文社 わずか3か月で80万人以上が殺された、1994年のルワンダ内戦。その内戦を生きのびたある家族の物語。今年の1月にISにより殺害された後藤健二さんによる民族の違いで争うことの無意味さを伝える一冊です。</p>	<p>『ぼくが遺骨を掘る人「ガマフヤー」になったわけ。』 具志堅 隆松/著 合同出版 30年近くに渡り、沖縄戦で犠牲になった人々の遺骨と戦争遺物を収集している著者が、遺骨収集を通して見えてきた沖縄戦の真実について語る。</p>